るのが羨ましかった。

授業や学級経営等の指導を受けてい 中学校に着任した仲間が、先輩から

報第一一三号に同窓会のあり方につ

山中前会長

同



### 同 窓会会長就任にあたっ

第121号

同窓 会

千葉大学教育学部

2014年10月15日発行

千葉市稲毛区弥生町1-33

₹263-8522

成されていない地域がある。早い機千葉県内でも、残念ながら支部が結 会に地域の皆さんに働き掛け、 強化をしていかなくてはならない。 を一歩でも進めていきたいと思う。 言に沿い、会員とともに歩む同窓会 同窓会長 そのためには、まず同窓会組織の て書かれて 貫 いるが、 私も、その提 正 (S40・3卒) 支部

六年に千葉大学教育学部中学校課程

私は、千葉市で生まれ、

昭和三十

鞭を執ってきた。学生時代に教育学

(年余の長きにわたり千葉大学で教

部が亥鼻から西千葉に移転し、

旧東

員に会報を読んでいただくようにし

を受けた。四十二年には鉄筋コンク

ート四階建ての校舎となった。

当時から同窓会は存在し、

印鑑を

大生産技術研究所の木造校舎で授業

現在、

り、平成六年三月の定年までの三十 四十二年九月に教育学部助手とな 葉県立高等学校で物理を担当した。 理科専攻に入学した。卒業後は、

年支部とが域支部と学 どもあって 部には、 もいいので 割りによる 思う。今後 はないかと 教科支部な あるが、縦 地

は貴重品で、

特に私の姓は珍しく、

大切に使えよと言われた。高等学校

教育学部の卒業生が少なく、

卒業記念にいただいた。当時は印鑑

を結成したい。 2014/08/30

町田副会長 貫井会長 髙山監事 八木副会長さわしい記念行事を計画して 野内監事 小高監事 分な打合せの下、 学の慶事であり、 ていきたい。 いきたいと思っている。 明治五年 (一八七二年)、

数に比較し発行部数はかなり少な する二通りの方法があるが、卒業生 支部経由で入手する方法と直接購読 同窓会報が年二回発行されている。 たしていたが、同窓会事務局が設置前は、附属全体で事務局の機能を果ている会員の処遇の問題がある。以 る方法を推進し、少しでも多くの会 い。今後は、ホームページを活用す の結束を高めることになる。現在、 されてから、支部組織の中では 民間企業に就職する会員が多い な存在になってしまっている。 立場からの提言をいただきたい。 をどう組織していくか、それぞれ 学内組織では、 会員が共通の情報を持つことが会 教員以外の職に就 附属学校に在職し いた会員 時代 曖昧 0

十年を祝う記念行事を行史を持つ教育学部の創立百五の年に千葉大学で最も古い歴 に創立百五十年を迎える。こ上げた教育学部が、二〇二二年 いたい。学部の記念行事は大 旛官員共立学舎として産声を 大学当局と十 百五十年にふ 钔

### 恩返しの時と心得て 一副会長就任にあたって~

之

旭市)

に鍛えられた。この体験が私の教員活は十四年に及ぶ。附属では徹底的に附属小に奉職したため、西千葉生 生活を支えた原点となった。 私は母校・千葉大学を卒業と同時

計二十年間西千葉キャンパスで過ご 諸君の進路相談に関わっている。 る機会をいただいた。現在は、後輩 に大学の教職に関わる講座を担当す 後輩に支えられた。加えて、 その間、陰に陽に母校の先輩、 なり、無事教員生活を全うできたが、 した。母校の恩恵をたっぷりと受 て今日の私が形作られている。 その後、地元や県教委でお世話に 現職中 同僚、

さを知りながらも断れなかった。 をくださったのかもしれない。 委員から話があった時、自分の非力 しろ「恩返しの時だぞ」という機会 こんな経緯を有するだけに、 む

どうかよろしくお願いいたしたい。 いただけると、厚かましくも思う。 手伝うとするか」との愛情(?)を 様からは「あいつか。 もとないが、本会報を手にされた皆 全うすることだ。浅学菲才の身で心 めにある「会長を補佐する」役目を 私にとっての恩返しは、会則の定 しょうがない、

ているのだろうか。

は、

前にいる。

どの子にも学習が成

関心、

態度が異なる子供

一つの教室に、 かる授業は、

能

力、

永遠の課題であ

#### 教育力の 向

上を



邊

征

Щ

り上げられている。それらに対し 報道されているが、 て学校現場では、どのように い。いじめ、不登校、引きこも 教職を離れ 数多くの教育問題がマスコミ 様々な問題行動 てから、 寒心に堪えな (S44・3卒 数年経 対応 が取 過

惧される。 は変わらない。 達に関わらず、学校現場の多忙さ であることは言うまでもな る指導力を身につけることが大切 イトを占める特殊性があるからで めろう。 一力が低下したのではないかと危 なる教師の教育力の向上を願う。 社会や親の変容を嘆く前に、 の関係によるものが大きなウエ ソコンの普及、教育 多忙な日々ではあるが、 尊敬や信頼されるに足 教育は、人間対人 0 発

から親の耳に届く。親の信頼が得である。授業の感想が、子供の口立することは、分かる授業の原点 られるようにしたい。

昔は、 現在、それらに代わるもの す。先人の知恵と思える。 碁を打っていた姿を思い 務時間後に、先輩後輩が囲 るために機能していた。また、 インフォーマルに同僚意識 のがあった。煩わしさもあったが、 同僚意識の醸成について述べる。 赤ちょうちん文化というも 出 を高 勤 8

に、子供にとっては、 ための言葉であって、 は、当人の負担を軽くする う説が一部にあった。これ 校が全てではない。」 る。昔は少なかった。 不登校問題は、 何なのだろうか。 難問であ とい 学校 実際

ないし。 とをする子はいるが、 先人の言葉を紹介する。 り、悩んでいる子を救ってほし らも苦しんでいるという認識 ながらも、また、テレビを見なが が全てである。子供はゲー 結びに、傷心の時に勇気を得 い。学校の組織を挙げて関 悪い子は 「悪いこ ・ムをし がほ わ

# 学校現場に期待すること



英 希

伊

会勤務になった。「行政は仕事 スは許されない」という市長 平成二十六年四月より教育 話を聞き、 気を引き締めて の講 うのミ

当が代わったばかりで、 職務を遂行することに心が が多いことだった。 護者からの相談やクレーム 分のペースで仕事が進 け、そして今、ようやく自 に築かれていないことや担 保護者との信 れるようになっ 年度当初驚 心いたの 頼関係が十分 た。 担任と は、 保 保 6

学校現場

だ事 より、 思う。 に苦慮したものもあった。 度からの問題が先送りされ、 教育に対する関心の高さの表れ ないこともあるが、 る苦情やなかなか納得してもらえ 因があるのではないかと思われ 例 幸い、 がほとんどだったが、 深刻な問題に至らずに済ん 学校の適切な対応に 「学校や子供の 家庭に 前年 対応

> き合っ てい 理 ,けば解: 係を築い 問 決の糸口 題 13 正 面 ける がみ か

とを基本に、最大限学校を支援 校のよき理解者である」というこ 任や管理職等の援助を得て、 合は、一人で抱え込まず、 師も見られる。問題が発生した場 るよう心がけていきたい。 である。また、「教育委員会は、 ム(複数)で対応することが原則 対応がうまくいかず、 しかし、残念ながら保 心を病む教 学年主 チー 学

組み、 力向上やいじめ対策等、 理等様々な業務がある。 ないことばかりであ である。 くのか立案することも重要な仕事 育課題にどのように取り組んで から出された施策や市独自 一方、教育委員会には、 調査の取りまとめ、 それらは全て学校の協力 進めていかなけ 喫緊の教 ればなら 危機管 この取り 玉 学

護者も不安だったからだと

重点的に取り組む 応していくことを期待したい。 意工夫を凝ら 向き合う時間を確保するためにも、 学校には、 既存の組織を生 目の前の児童 様 べき課題を整理 々な課 かしながら創 生

### \* 私の学園

生活

\*

### 友達との出会い \*\*\*



野 貴 子

吉

から何日か経ってから撮る のときのクラスの記念写真。 ・のときのクラスの記念写真。

との交流は続いている。 十年経った今でも、 実したものとなった。卒業から二 ことで、私の学生生活は楽しく充 こんなすばらしい友達と出会えた は のほとんどの人がスーツを着てい 写真といえば、 入学式から何日か経ってから撮る 何かあるの」とびっくりされた。 入学のときのクラスの記念写真 他のクラスの友達には、「今日 普段着でよいはずだった。 写真を撮る日にはクラス 誰かの「入学時のクラス スーツでしょ」の クラスの友達

た。大学祭初日、思ったよりもお 一クルでの出店が多い中、クラス アの中から、うどん屋をやること アの中から、うどん屋をやること になった。麺の仕入れや道具のレ になった。麺の仕入れや道具のレ になった。一つルでの出店が多い中、クラス

> 果となった。 客さんが来て、大忙しであった が、気温が低かったので温かいう が、気温が低かったので温かいう

ことは、とても勉強になった。 だけではない。二年生のとき、 学四年生のときには、新しく建 が、クラスの友達の演奏を聴けた 主的な演奏会で、各自で練習を行 ち上げてくれた友達があり、 奏会を行った。 たばかりの音楽棟のホールでも の演奏は良いものではなかった をすればよかったと後悔した。自 の演奏を聴きながら、もっと練習 足で当日を迎えてしまった。 い、当日に備えた。私は、 子高の講堂を借りて行った。 科選修で演奏会を」との企画を立 ただ仲間内で楽しく遊ん 全く自 練習不 千葉女 でい 友達 大 演 0 分 た

は第一回の関東甲信越大会で、

優

大学時代は、たくさんのことを大学時代は、たくさんのことをとは多かったが、友達に教えてもらったことも多かった。将来の夢らったことも多かったが、友達に教えてもきる友達との出会いのおかげで、今の自分がある。クラスの友達との出会いに今も感謝している。

## いの雨であったわが青春に悔忙しであった。

い

なし

\*\*



多 田 揚太郎

松戸市)

私たちが入学した当時の千葉大は、整備の緒についたばかりで、は、整備の緒についたばかりで、までも、一般教養課程だけは、全学がも、一般教養課程だけは、全学がした。

腰という偉業を成し遂げた。 このように千葉大を代表するような部でありながらも、いたずらに勝負に拘泥することなく、明るいえ、一年生の時の長野大会でのいえ、一年生の時の長野大会での緊張感は、善光寺の裏山から市街緊張感は、善光寺のようにたやや早目の緊があるがら口にしたやや早目の緊があるがら口にしたやや早目のという偉業を成し遂げた。

でき嬉しかった。この年、富山国久々に千葉大の名を上げることが、園芸学部の水泳選手も優勝し、園芸学部の水泳選手も優勝し、

ありがとう

千葉大

できた。 く県下の柔道人と知り合うことが体に千葉県代表として出場し、広

翌年の東京国体では、昭和三十 九年東京オリンピックのメイン会 場となった国立競技場で、天皇・ 皇后両陛下ご臨席のもとでの開会 式に、団長の柴田等知事に続き、 千葉県選手団の旗手として、入場 行進をした感激は今でも胸が熱く なるほどである。

叱咤激励し続けてこられた基にな 務めた。その時に、 れていた師範の山口先生の代行を 千葉県農業大学校柔道部 にあった盲学校と、 0 ることの気恥かしさと喜びを体験 てわんぱくどもをも発奮させ、 た。これが、後に中学校教師と 一方、この頃、 千葉女子高 誉 田 先生と呼ば 日にあった。子高の隣 で指導さ n

相手の内股技をすかしながらも 個 !体となって右肩先から激しく落 人戦準決勝で埼玉大生と戦 几 稲毛よいとこ一度は し、肩鎖関節を骨折したことで、 り下りの 関東甲信越大会は終わった。 年 次、 甲 総武線… 府 城 趾 の武道: 館 61